

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.nagawa.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

ご案内

- 1.ご所有株式のうち、市場では売買できない単元未満株式（100株未満の株式）につきましては、当社に対し買取を請求し売却できる制度（単元未満株式買取制度）をご利用いただくことができます。
- 2.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 3.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
- 4.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ARで動き出す。NAGAWAのカatalogで未来の体験を。

専用アプリを使ってスマートフォンをカatalogの指定されたエリアにかざすと、商品のイメージ映像をご覧いただけます。

1 専用無料アプリ(ナガワAR)をダウンロード

「Google Play™」または「App store™」から「ナガワAR」を検索し、スマートフォンに「ナガワAR」無料アプリをダウンロードしアプリを起動し（起動するとカメラモードになります。）

2 スマートフォンをかざして動画を見る

カatalog内の指定エリアにスマートフォンをかざすと、映像が始まります。

このマークの画像でお試しください!

ARで動きます!

株式会社 ナガワ

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-17 シーノ大宮サウスウィング16F
Tel 048-648-6111 (代表) Fax 048-648-6123 <http://www.nagawa.co.jp/>



モジュール建築施工例

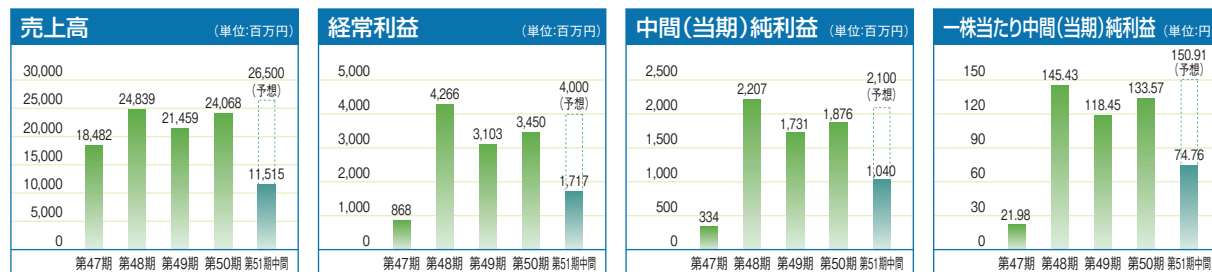
INDEX

- 財務ハイライト
- 株主の皆さまへ
- 事業別の概況
- 連結財務諸表
- NAGAWA'S PRODUCTS
- トピックス
- 会社概要
- 株式の状況

中間報告書

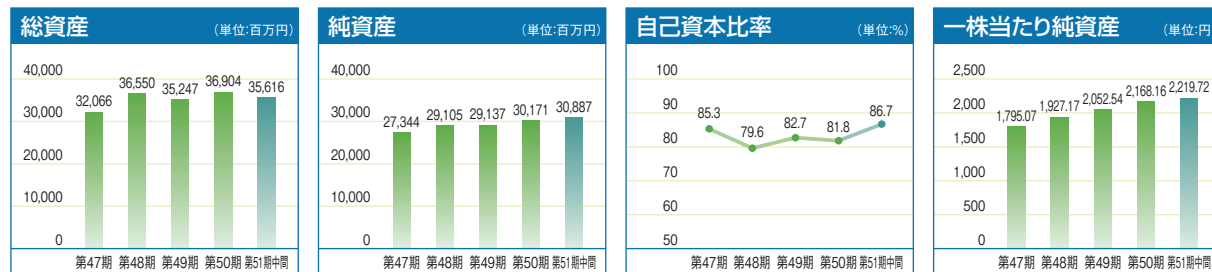
第51期(2014年4月1日～2014年9月30日)

■ 売上高・損益



	第47期 (11年3月期)	第48期 (12年3月期)	第49期 (13年3月期)	第50期 (14年3月期)	第51期中間 (15年3月期中間)
売上高 (百万円)	18,482	24,839	21,459	24,068	11,515
経常利益 (百万円)	868	4,266	3,103	3,450	1,717
中間(当期)純利益 (百万円)	334	2,207	1,731	1,876	1,040
一株当たり中間(当期)純利益 (円)	21.98	145.43	118.45	133.57	74.76

■ バランスシート



	第47期 (11年3月期)	第48期 (12年3月期)	第49期 (13年3月期)	第50期 (14年3月期)	第51期中間 (15年3月期中間)
総資産 (百万円)	32,066	36,550	35,247	36,904	35,616
純資産 (百万円)	27,344	29,105	29,137	30,171	30,887
自己資本比率 (%)	85.3	79.6	82.7	81.8	86.7
一株当たり純資産 (円)	1,795.07	1,927.17	2,052.54	2,168.16	2,219.72

日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期におけるわが国の経済は、消費税増税や原材料・エネルギーコストの上昇など、経営環境に影響を与えるリスクは依然として存在するものの、政府や日銀の各種政策効果から企業収益の改善や設備投資の増加、雇用情勢の改善等によって緩やかな回復基調で推移してきました。

ユニットハウス、モジュール・システム建築及び建設機械レンタル業界におきましては、国の公共投資は社会インフラの改修整備や復旧・復興需要により堅調に推移しており、また、民間設備投資については、大手企業を中心に増加傾向にあるものの、先行きについては非製造業で3年ぶりに減少が見込まれるなど増勢の鈍化が見受けられます。

このような情勢のなか、当社グループは、モジュール建築（プレハブ建築）・システム建築の技術・ノウハウを活用し工場、倉庫、店舗等の受注を拡大していく一方、ユニットハウスにおいては各工場の生産能力を強化するとともに、島根営業所のリニューアルやつくば展示場の開設等、拡大するレンタル需要ならびに民間設備投資の増加に対応してまいりました。また、モジュール・システム建築用簡易見積りシステムの導入や請求書の電子配信サービスの開始、ファクタリング支払から現金支払への変更ならびにパソコン環境の仮想デスクトップ環境への刷新等、営業支援ツールの充実と業務効率の改善に努めてまいりました。

この結果、当中間期における売上高は115億1千5百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は16億2千4百万円（前年同期比23.0%増）、経常利益は17億1千7百万円（前年同期比22.5%増）、中間純利益は10億4千万円（前年同期比30.3%増）となりました。

2014年12月



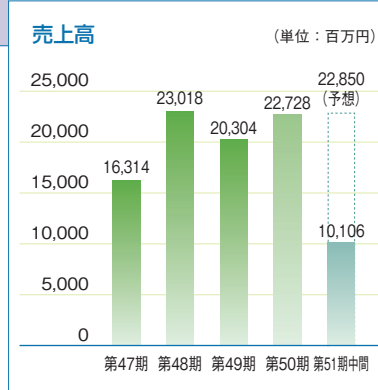
代表取締役社長

高橋 修

■ ユニットハウス事業

ユニットハウス事業におきましては、レンタルにおいては特定地域に一極集中することなく全国的にバランスの取れたレンタル資産配分と備品や付帯工事をセットにした提案営業を継続することにより、レンタル稼働が全域で堅調に推移いたしました。また、受注増加による稼働棟数の増加や単価の持ち直しに加え、販売単価が新棟・中古ともに上昇したことにより売上、利益ともに増加いたしました。

この結果、当事業のセグメント売上高は101億6百万円（前年同期比3.9%増）となりました。また、営業利益は17億8千3百万円（前年同期比13.0%増）となりました。



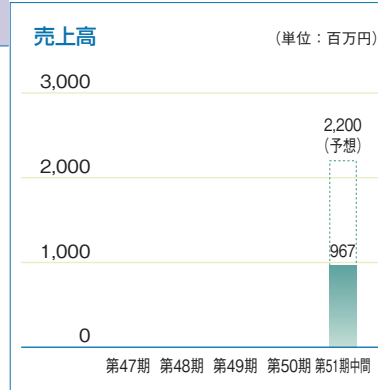
第50期より事業区分を2事業区分から、3事業区分として表示しております。モジュール・システム建築事業は、第50期までユニットハウス事業に含まれております。

■ モジュール・システム建築事業

モジュール・システム建築事業におきましては、従来の小規模建築に強みのあるユニットハウス建築とのシナジー効果等により、民間向けの事務所や大型倉庫の完工高が堅調に推移いたしました。一方、海外におきましては、受注拡大をはかるため営業体制の強化に注力してまいりました。

以上の結果、事務所や大型倉庫等モジュール建築（プレハブ建築）・システム建築の完工高が大幅に増加いたしました。

この結果、当事業のセグメント売上高は9億6千7百万円（前年同期比21.7%増）となりました。また、営業利益は6千4百万円（前年同期比384.0%増）となりました。

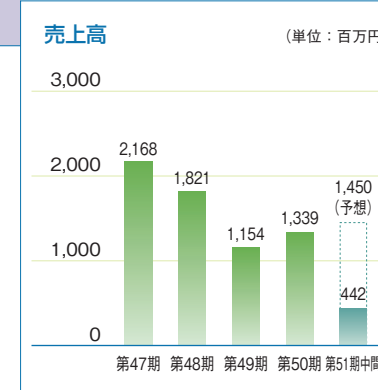


第50期より事業区分を2事業区分から、3事業区分として表示しております。モジュール・システム建築事業は、第50期までユニットハウス事業に含まれております。

■ 建設機械レンタル事業

建設機械レンタル事業におきましては、営業エリアである北海道南部建設市場の公共工事請負金額に減少傾向が見られるなか、地域に密着した営業活動の強化と貸与資産管理の緻密化による資産効率の向上や固定費の圧縮に努めるとともに、カーコンビニ倶楽部の自動車整備部門の営業推進に注力してまいりました。

この結果、当事業のセグメント売上高は4億4千2百万円（前年同期比6.7%減）となりました。また、損益につきましては、継続して取り組んでいる運送費や修繕費の抜本的見直し等による経費削減が大きく寄与したものの、営業損失は7千9百万円（前年同期の営業損失は1億3千4百万円）となりました。



● 通期の見込み (連結)

売上高	26,500百万円
営業利益	3,900百万円
経常利益	4,000百万円
当期純利益	2,100百万円

■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第51期中間 2014.9.30現在	第50期末 2014.3.31現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	6,191	7,151
受取手形及び売掛金	6,665	7,319
商品及び製品	2,013	1,376
仕掛品	126	69
原材料及び貯蔵品	318	264
繰延税金資産	144	170
信託受益権	261	992
その他	253	210
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	15,968	17,546
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	10,509	10,225
建物及び構築物（純額）	1,324	1,365
土地	6,493	6,499
建設仮勘定	73	96
その他（純額）	342	186
有形固定資産合計	18,742	18,373
無形固定資産	118	92
投資その他の資産		
長期預金	—	100
投資有価証券	290	273
敷金及び保証金	370	393
繰延税金資産	105	117
その他	23	10
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	787	892
固定資産合計	19,647	19,358
資産合計	35,616	36,904

科 目	第51期中間 2014.9.30現在	第50期末 2014.3.31現在
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	1,743	1,635
ファクタリング未払金	494	2,030
未払法人税等	715	1,052
賞与引当金	219	239
役員賞与引当金	36	78
資産除去債務	4	1
その他	1,324	1,439
流動負債合計	4,538	6,477
固定負債		
長期未払金	41	52
退職給付に係る負債	5	55
資産除去債務	64	67
その他	79	79
固定負債合計	190	255
負債合計	4,728	6,733
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,855	2,855
資本剰余金	4,586	4,586
利益剰余金	25,992	25,275
自己株式	△2,614	△2,613
株主資本合計	30,821	30,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77	66
為替換算調整勘定	△10	0
その他の包括利益累計額合計	66	66
少数株主持分	—	—
純資産合計	30,887	30,171
負債純資産合計	35,616	36,904

■ 中間連結損益計算書（要旨）

(単位：百万円)

科 目	第51期中間 2014.4.1～ 2014.9.30	第50期中間 2013.4.1～ 2013.9.30
売上高	11,515	10,991
売上原価	6,609	6,440
売上総利益	4,905	4,551
販売費及び一般管理費	3,281	3,230
営業利益	1,624	1,320
営業外収益	92	83
営業外費用	0	3
経常利益	1,717	1,401
特別利益	109	10
特別損失	67	4
税金等調整前中間純利益	1,758	1,406
法人税、住民税及び事業税	700	596
法人税等調整額	17	19
少数株主損益調整前中間純利益	1,040	790
少数株主損失（△）	—	△7
中間純利益	1,040	798

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：百万円)

科 目	第51期中間 2014.4.1～ 2014.9.30	第50期中間 2013.4.1～ 2013.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,148	587
投資活動によるキャッシュ・フロー	429	△185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△348	△574
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	14
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,060	△158
現金及び現金同等物の期首残高	7,151	6,121
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	63
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,091	6,026

ユニットハウス事業

ナガワのユニットハウスは、約90%を工場で製作。あとは、現場でジョイントするだけ。強度も耐久性も折り紙付きの全溶接鉄骨構造。

「必要なときに、必要な大きさを、必要な期間だけ」ナガワのレンタルシステムは、お客様の設置条件に合わせてご利用いただけます。また、レンタルだけでなく販売も行っており、お客さまの多彩なニーズにも柔軟にお応えします。



モジュール・システム建築事業

目的や用途に応じてフレキシブルに対応オーダーメイド感覚の建築工法です。

システム建築は、建物の構成要素となる「鉄骨」・「屋根」・「外壁」・「建具」等に関する部材ディテールや配置を徹底した標準化と軽量化を図ることにより、「短工期」・「低コスト」・「高品質」・「大空間」を実現しています。また、システム建築は、お客様の様々なご要望・見積り対応にも迅速且つ正確な見積書をご提供することができます。



建設機械レンタル事業

土木・建設現場のニーズに合わせて、レンタルから中古販売まで。

利便性を追求した自社開発の製品をはじめ、メーカー各社の建設機械を豊富にラインアップ。用途に応じてレンタルから中古建機の販売。メンテナンスやサービス体制も万全なので、いつでも安心してお使いいただけます。



本社機能の移転に関するお知らせ

1. 本社新所在地
〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目4番地1号 丸の内永楽ビルディング22階
2. 移転先での業務開始日
平成26年12月22日（月）
3. 移転理由
今後の業務拡大に対応し、経営効率を高めることを目的として移転いたします。
4. その他
当社東京支店及びグループ会社株式会社建販の本社も同じフロアに移転いたします。

増配のお知らせ

当社は、平成26年10月27日開催の当社取締役会において、下記のとおり平成27年3月期の1株当たり配当予想を修正することについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当予想の修正理由
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題として位置付けております。また、当社の主業であるレンタル事業は投資から回収まで長期間を要する事業特性を持っており、このようなことから当社の配当政策は、業績動向はもとより将来の事業展開や設備投資のための内部留保を確保しつつ、また柔軟な資本政策及び資本効率の向上を図ることも念頭に入れたものとしております。具体的には、原則として総還元性向（純利益に対する配当金と自己株式取得金の合計額の比率）30%以上を目標としておりますが、現在のところ当期において自己株式の取得を実行しておりませんので、従来予想期末配当金（年間配当金）25円に特別配当金15円を加え、年間配当金40円に予想額を増額修正するものであります。
2. 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想（平成26年5月7日発表）	—	0.00	—	25.00	25.00
今回修正予想	—	0.00	—	40.00(注)	40.00(注)
当期実績	—	—	—		
前期実績（平成26年3月期）	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 修正後の当期期末配当金予想の内訳は、普通配当金25円、特別配当金15円、合計40円となります。

■ 会社概要

商号 株式会社 ナガワ
 創立 1966年7月21日 (昭和41年)
 資本金 2,855百万円
 従業員数 418名
 主な事業内容 1.ユニットハウスの製造・販売・賃貸
 (商品名: スーパーハウス)
 2.システム建築・モジュール建築 (プレハブ建築) の設計・施工
 3.建設機械器具の賃貸・販売
 4.建設資材販売・リフォーム・土木・設備工事

■ 役員

代表取締役社長 高橋 修
 専務取締役 稲井 正
 専務取締役 矢野 範行
 常務取締役 井上 俊範
 常務取締役 菅井 賢志
 常務取締役 大熊 信好
 常務取締役 高橋 学
 取締役 久納 正義
 取締役 山本 敏朗
 常勤監査役 多田 俊雄
 社外監査役 鳥海 隆雄
 社外監査役 本橋 信隆

■ グループ会社

株式会社建販
 創立 1994年1月26日 (平成6年)
 資本金 120百万円
 本社所在地 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-17
 シーノ大宮サウスウィング 16F

海外現地法人
 NAGAWA DO BRASIL INDÚSTRIA DE
 CONSTRUÇÕES MODULARES LTDA.
 設立年月 2010年9月
 資本金 2,910,482.89BRL
 本社所在地 ブラジル連邦共和国 サンパウロ市

PT.NAGAWA INDONESIA INTERNATIONAL
 設立年月 2012年6月
 資本金 30万 USD
 本社所在地 インドネシア共和国 ジャカルタ市

NAGAWA (THAILAND) CO., LTD.
 設立年月 2012年10月
 資本金 1,000万 THB
 本社所在地 タイ王国 サムットプラカーン県

■ 株式の状況

■発行可能株式総数 30,000,000株
 ■発行済株式の総数 16,357,214株
 (自己株式2,441,973株を含む)
 ■1単元の株式数 100株
 ■株主数 1,836名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LIMITED	2,191	15.75
高橋 修	2,007	14.42
高橋 学	1,000	7.18
有限会社 エヌ・テ一商会	890	6.39
有限会社 ダイユウ商会	751	5.39
菅井 賢志	741	5.32
株式会社 北洋銀行	683	4.91
株式会社 三菱東京UFJ銀行	610	4.38
高橋 悦雄	489	3.51
高橋 和雄	482	3.46

(注) 1. 持株比率は自己株式 (2,441,973株) を控除して計算しております。
 2. 当社は、2,441,973株の自己株式を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

■ ホームページのご案内

<http://www.nagawa.co.jp/>

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、製品のご紹介からIR情報に至るまでのさまざまな情報を掲載していますので、ぜひご活用ください。また、ネットショッピングもご利用いただけます。

スーパーハウス.jp
<http://www.nagawa.co.jp/>

